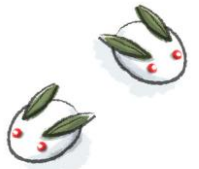




ひょうご農地・水ニュース



監修：兵庫県農地整備課 兵庫県農業改良課

発行：兵庫県各地域農地・水・環境保全推進協議会 水土里ネット兵庫 078-341-0500

今年度もイベント がいっぱい！

農業の基本となる農地や水路、さらには美しい景観、豊かな生きもの、きれいな水を守り育む地域ぐるみの活動が農村集落で熱心に行われています。今年度もこの活動の大切さを広く県民にPRするため、兵庫県、サンテレビ、メダカのコタロー劇団(※)、関係団体が協力して、年間を通じてイベントを開催してきました。

今年度県下各地で開催したイベントをご紹介します。

その中でも「ひょうご水土里のふるさとフォーラム」では、平成21年度特に農地・水・環境保全向上対策に素晴らしい取り組みを進めてこられた地区の皆さんに、『みどり豊かなふるさと大賞』の授与が行われました。

※メダカのコタロー劇団：大阪の声優養成学校の劇団員。親子で身近に自然環境の大切さを考えてもらうためアニメ紙芝居の劇団として、主に兵庫県で活躍中。



CONTENTS

P.2～3 第3回 ひょうご水土里のふるさとフォーラム 報告

P.4 西播磨フロンティア祭2010(上郡町)

P.5 生物多様性キックオフイベント(豊岡市) / ハグハグ環境学校 生きもの調査(南あわじ市)

P.6 コタローと一緒にため池教室 in 下東条小学校(小野市) / メダカのコタローワンダーランドライブ(洲本市)

P.7 案山子コンテスト(神戸市) / おもしろいで！丹波 GOGO フェスタ 2010(丹波市)

P.8 きらっと☆北摂フェスティバル(三田市) / 小野市産業フェスティバル(小野市)

P.9 東はりまメダカ復活大作戦！！(加古川市) / メダカのコタロー・クリスマスイベント(神戸市)

P.10～11 兵庫県における農地・水・環境保全向上対策の取り組み状況等

P.12 県下の取り組みの事例について(活動組織の紹介) 広谷環境保全活動組織(神戸市) / 金屋農地水環境保全隊(洲本市)

第3回 ひょうご水土里のふるさとフォーラム 平成22年11月23日（火・祝）

今年も兵庫県公館において、兵庫県、兵庫県農地・水・環境保全推進協議会（県下9協議会）、水土里ネット兵庫の主催、メダカのコタロー劇団、サンテレビ、ラジオ関西、神戸新聞社等の協力により開催され、約450名が参加しました。



今年は『谷五郎のところにきくラジオ』でフォーラム内容を公開生放送！

司会は谷五郎さん
と中野涼子さん

今年のテーマは、農村の多様な生態を再発見し、生きものの大切さや上手なつきあい方を県民のみなで考えようというものです。

今年はラジオ関西番組『谷五郎のところにきくラジオ』でフォーラム内容を公開生放送しました。

会場内には農地・水各地域協議会の活動をPRするパネルを展示しました。

オープニングコンサートは、兵庫県出身のシンガー・衣川亮輔さんによるギターの弾き語り。ふるさととの原風景、人と人とのつながりをテーマとした楽曲で、熱い歌声、優しいメロディーで会場を盛り上げてくれました。

セレモニーでは、吉本兵庫県副知事による主催者挨拶が行われました。



メダカのコタロー劇団によるアニメ紙芝居が上演され、在来種環境を脅かすブラックバス、アメリカザリガニなどの外来種の説明、それを撃退する必要性などをわかりやすくお話してくれました。その後、生きものの専門家シュウ博士（松本修二委員）とナリちゃん（県立加古川東高校生物部部員）と一緒に外来生物に関するクイズを出題し、観客との掛け合いを通じて対処方法を学びました。

吉本兵庫県副知事、三野委員長より、平成21年度特に農地・水・環境保全向上対策に素晴らしい取り組みを進めてこられた地区の皆さんに、『みどり豊かなふるさと大賞』の授与が行われました。知事賞2地区と委員長（豊かなふるさとづくり推進委員会）賞3地区です。吉本副知事、三野委員長、受賞地区の各代表者で記念撮影も行いました。



1 知事賞受賞（石守水土里ネット）
2 知事賞受賞（田中グリーンECO）
3 委員長賞受賞（池尻町農地・水・環境保全活動会）
4 委員長賞受賞（小河活動協議会）
5 委員長賞受賞（高畑地域づくり協議会）
6 受賞者記念撮影



トークショーでは、「生き物との共生～わがまちの取り組み～」をテーマに、ナビゲーターの谷五郎氏とコーディネーターの三野徹委員長、松本修二委員、そして石守水土里ネット代表 石見瀧男さん、田中グリーン ECO 副代表 村上彰さん、新地区環境保全活動組織役員 原口浩一さんの6名で、地域の生態系保全の取り組みなどについて、報告や意見が活発に繰り広げられました。

最後に「野生動物の生態・被害」をテーマに、兵庫県立大学自然・環境科学研究所の室山教授が、野生動物の基礎知識や被害の現況や対策の考え方をわかりやすく解説してくれました。



今回は、『農村の多様な生態系を守る～生き物との共生～』をテーマに進め、それぞれの活動組織の日々の取り組みが素晴らしい意味合いを持っていることを認識する、意義深いフォーラムとなりました。

平成22年度 県下各地で **開催されたイベント** をご紹介します！

日程	イベント名	場所
4月29日 (木・祝)	西播磨フロンティア祭2010	上郡町 播磨科学公園都市
5月20日(木)	生物多様性キックオフイベント	午前 豊岡市立城崎小学校 午後 戸島湿地
7月6日(火)	ハグハグ環境学校 生きもの調査	南あわじ市立榎列小学校体育館 ほか
7月12日(月)	コタローと一緒にため池教室in下東条小学校	小野市立下東条小学校
7月19日 (月・祝)	メダカのコタローワンダーランドライブ	洲本市文化体育館
7月25日(日)	案山子コンテスト	神戸市 神出東めっこうファーム
10月3日(日)	おもしろいで！丹波GOGOフェスタ2010	丹波市 丹波の森公苑
10月17日(日)	きらっと☆北摂フェスティバル	三田市 有馬富士公園
10月24日(日)	小野市産業フェスティバル	小野市うるおい交流館エクラ
11月21日(日)	東はりまメダカ復活大作戦！！～メダカを通じて次世代につなぐ豊かな田園環境～	加古川市立総合体育館
11月23日 (火・祝)	第3回 ひょうご水土里のふるさとフォーラム	神戸市中央区 兵庫県公館
12月23日 (木・祝)	メダカのコタロー・クリスマスイベント	神戸市中央区 兵庫県土地改良会館6F

西播磨フロンティア祭2010(上郡町)
平成22年4月29日(木・祝)

播磨科学公園都市で開催された西播磨フロンティア祭2010において「農地・水・環境保全向上対策」をPRするため、推進パネル、看板、のぼりを展示しました。農地・水・環境保全向上対策の認識度を調査し、参加者を写した缶バッジ等を作成配布するなどして、本対策の取り組みを印象づけました。



1 イベントには「はばたん」も参加

2 「農地・水・環境保全向上対策」展示ブース

3 パネル展示、缶バッジ作成

生物多様性キックオフイベント（豊岡市） 平成22年5月20日（木）

豊岡市では、5月20日を『生きもの共生の日』と位置づけ生物多様性関連事業の一環として、但馬協議会と豊岡市の共催で『生物多様性キックオフイベント』を豊岡市立城崎小学校で開催しました。園児・小学生を対象に、メダカのコタロー劇団による環境に優しい農業の必要性を考えたアニメ紙芝居や戸島湿地で生きもの調査と湿地管理作業を実施しました。



1 アニメ紙芝居の上演



2 戸島湿地で捕れた生きものの分類とスケッチ



3 湿地管理作業に必要な道具づくり

ハグハグ環境学校 生き物調査（南あわじ市） 平成22年7月6日（火）

7月19日の『コタローワンダーランドライブ』のイベントとして実施しました。将来の地域の担い手となる小学生を対象に、生きもの調査、メダカのコタロー劇団によるアニメ紙芝居を行い、農村環境を守る大切さをPRしました。メダカのコタロー劇団と記念撮影もしました♪



1 アニメ紙芝居の上演



2 メダカのコタロー劇団と記念撮影



3 生きもの調査

コタローと一緒にため池教室 in 下東条小学校（小野市）
平成22年7月12日（月）

環境学習の一環として、下東条の幼稚園・小学5年生60人を対象に、メダカのコタロー劇団によるアニメ紙芝居の上演、農村環境クイズを実施しました。ため池はなぜ造られたのか、どういうしくみなのかをわかりやすくお話してくれました。



1 アニメ紙芝居の上演 2 農村環境クイズ 3 みんなで大合唱♪

メダカのコタロー ワンダーランドライブ（洲本市）
平成22年7月19日（月・祝）

「親子で一緒にひょうご・淡路の農村環境を考えよう!!」をテーマに、播磨ウエットランドリサーチの松本修二代表を講師に招き生きもの調査、メダカのコタロー劇団によるアニメ紙芝居、加古川東高校校長先生によるストローエビの作成などを実施しました。生きもの調査は、実際に見て、触れて、観察することで記憶に残る自然環境体験学習になりました。



1 田んぼで生きもの調査 2 メダカのコタロー劇団と一緒に大合唱 3 加古川東高校校長先生によるストローエビの作成実演

案山子コンテスト（神戸市）

平成22年7月25日（日）

神出東エコ農業活動組織は、今年も『ため池・田んぼ探検隊』を4回開催し、都市住民との交流を行いました。今年度は新たな取り組みとして、『案山子コンテスト』を行いました。用意した稲藁を胴体にして、持ち寄った衣料でいろいろな案山子が出来上がりました。親子で作った案山子は夏休みのいい思い出になりました。9月の稲刈りに優秀作品を表彰しました。



1 お父さんと一緒に案山子作り



2



3

3 めっこうファーム掲示板にて優秀作品を展示

おもしろで！丹波GOGOフェスタ2010（丹波市）

平成22年10月3日（日）

農地・水・環境保全向上対策が果たしている役割、農地・農業用施設の維持管理の大切さを多くの方に知ってもらうため、優良な活動事例のパネル展示や農業用施設のパネル・模型展示、ため池や農地の大切さをPRするアニメ紙芝居を実施しました。たくさん子どもたちが参加してくれました。



1



2



3

1 2 アニメ紙芝居の上演

3 パネル展示

きらっと☆北摂フェスティバル（三田市）
平成22年10月17日（日）

アニメ紙芝居の上演により里山・農業・環境保全などの大切さ、農地・水の取組みなどをPRしました。“里山を守るとは水を守ること、そしてひいてはおいしいお米、農業を守ること”とメダカのコタロー劇団がわかりやすくお話してくれました。子どもたちもステージに上がって楽しんでくれました。



1 2 阪神初上陸「メダカのコタロー劇団」

3 農地・水・環境のパネル展示

小野市産業フェスティバル（小野市）
平成22年10月24日（日）

小野市のうるおい交流館エクラで、メダカのコタロー劇団がアニメ紙芝居を上演しました。事前に「メダカのコタロー参上！」というチラシを周辺の小学校に配り、当日も産業フェスティバルに来た方を劇団員自らが案内してくれました。都市化が顕著な小野市ですが、メダカのコタローのお話を通じて、子どもたちに自然環境の大切さをPRしました。



1 2 コタロー劇団によるチラシ配り

3 アニメ紙芝居の上演

東はりまメダカ復活大作戦！！（加古川市）
平成22年11月21日（日）

親子で農村環境に興味を持ってもらい、農地・水・環境保全向上対策の取組を理解してもらうため、メダカのコタロー劇団によるアニメ紙芝居の上演、スタンプラリーを実施しました。アニメ紙芝居では、外来生物による生態系の破壊等について上演し、加古川流域土地改良事務所長も出演したり、加古川農林水産振興事務所長自ら「ごはんを食べて農を守ろう」と参加者に訴えました。



1 スタンプラリー 2 なごやかなオープニング 3 「ごはんを食べて農を守ろう」と訴える

メダカのコタロー・クリスマスイベント（神戸市）
平成22年12月23日（木・祝）

くちびる川王国(※)の住民や一般県民を対象に、アニメ紙芝居の上演、ハグハグジャンケン、ハグハグゲームなどにより農村環境の大切さをPRしました。農村環境に関するゲームに正解すると劇団員自作の景品がもらえ、ステキなクリスマスプレゼントとなりました。

※くちびる川王国の住民とは、イベント実施時に応募のあった劇団の応援団たち。現在約230名



1 JR元町駅でコタロー劇団によるチラシ配り 2 受付 3 ハグハグゲーム

兵庫県における農地・水・環境保全向上対策の取組状況

1 平成22年度の取組状況（22年10月時点）

取組概要

◆共同活動

共同活動支援対象の活動組織は1,760組織（2,135集落）で、取組面積は46,738haであり、そのうち交付対象となる農振農用地は44,252haである。

農振農用地での取組率は69%と対策導入から4年連続全国トップを維持している。

◆営農活動

営農活動支援対象の活動は、131地区、1,234haであり、農振農用地に占める取組割合は1.9%となっている。

2 平成21年度の取組状況

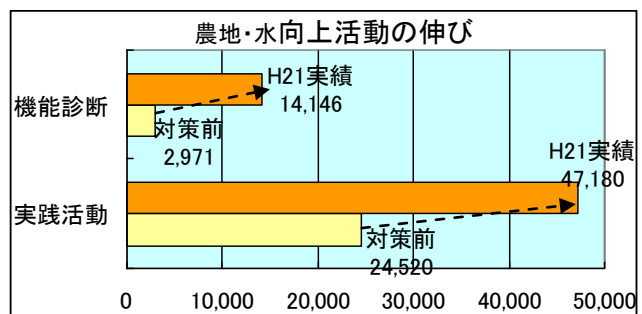
◆共同活動

.....基礎活動.....

活動区域内の農地46,660haや農業用施設（水路17,528km、ため池7,608箇所等）のきめ細やかな点検や法面の草刈り等の維持管理が実施された。

.....農地・水向上活動.....

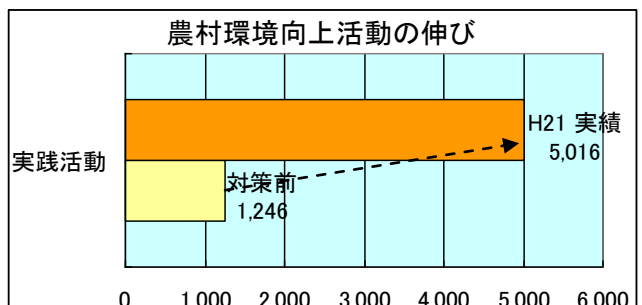
本活動が大幅に増加し、農業用施設のきめ細やかな機能診断（施設の点検等）、実践活動（水路の補修、鳥獣害防止柵の補修等）が実施され、施設の長寿命化に繋がった。



.....農村環境向上活動.....

a 本活動が対策前の4.0倍と大幅に増加し、生態系保全・水質保全・景観保全等の取組が本対策により活発に実施されている。

b 景観形成活動（水路法面への植栽等）が、全体の7割程度実施され、H21アンケート結果によると、71%の活動組織が「地域の景観が良くなった」と回答している。



.....自然体験学習の推進.....

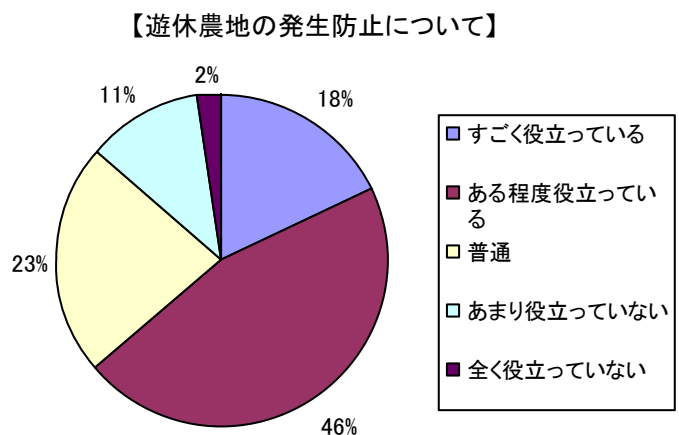
環境保全活動では227集落で学校等との連携が図られており、次代を担う子供たちが農村環境の大切さについて理解を深めている。



.....遊休農地の解消.....

遊休農地165haが草刈り等により保全され、うち69haが営農等に有効活用された。

また、アンケート結果によると64%が「遊休農地発生の防止に役だった」と回答している。



◆営農活動

.....実施状況.....

営農基礎活動に加え先進的営農活動※を実施する面積1,047ha

※ 化学肥料・化学合成農薬の使用を地域慣行の50%以下に減らす取組

.....実施内容.....

水稻(693ha、66%)、軟弱野菜等の葉茎菜類(126ha、12%)等

.....本県の特徴.....

水稻の取組が66%と最も多く、次いで麦、豆類の取組割合(17.5%)が高い。

.....集落全体の活動へ拡大.....

a 浅水代かきなど、ほ場からの環境負荷流出抑制に取り組んでいる地区が52地区から65地区に増加した。

b 化学肥料・化学合成農薬低減のための技術研修会や先進地視察等を実施し、先進的営農の拡大に取り組んでいる地区が、87地区から95地区に増加した。



.....環境にやさしい農業技術の導入.....

・ 先進的営農活動実施ほ場では、温湯(60~63℃)種子消毒による殺菌、生物農薬の利用等、より高度な農薬低減技術の導入が進んでいる。

・ 環境に優しい農業を行うエコファーマーの認定者が1,726人(H21.3)から2,022人(H22.10)に増加している。



県下の取り組みの事例について（活動組織の紹介） ▼▼▼

◆事例1 ^{ひろたに} 広谷環境保全活動組織（神戸市西区） 「みんなで、広谷地区の緑と水を守ろう。」



当地区では、“花いっぱい運動”として、転作田にはコスモス、農道などの法面にはヒラドツツジを植栽しています。さらに、21年度からは、コスモス祭りを開催し、地区内のコスモス畑をめぐるスタンプラリーや写真コンテストを実施しています。イベント当日には、大勢の方が会場を訪れ、世代を超えて、楽しい1日を過ごしました。

また、今後、高齢化が予想されることから、草刈りの省力化を図るために、農地の法面にセンチピードグラスの植栽による雑草の抑草にも挑戦しています。

日々の管理やイベントを通して、地域内の交流・連携がさらに深まっています。

- 1 環境ポスターの作成
- 2 ヒラドツツジの植栽
- 3 コスモス祭り
- 4 コスモス畑



◆事例2 ^{かなや} 金屋農地水環境保全隊（洲本市金屋） 「地域で守ろうみんなの財産！」



当地域は、約77haの協定農用地で、農業者・町内会・老人会・消防団・子供会が協力して保全隊活動を実施しています。構成員の中には、非農業者も多く、農業以外にも生活の重要な基盤となっているため池の見回りや道路・水路の草刈りなどに、積極的に参加しています。

また、農業者は水利組合を中心に団結し、農道や水路といった施設の改修を実施し、営農環境が目に見えて良くなってきています。

農村環境向上活動では、水質保全に力を入れており、子供会がため池での水質検査と報告書の作成を実施し、水質の向上に関心を持って取り組んでいます。

これまでの約4年間の活動で、地域で話し合う機会も増え、子供たちも地域の農業や環境問題に興味を持ってきており、今後も農業施設の大切さや、水質保全の重要性を地域で考えていきたいと思っています。



- 1 ため池の定期的な見回り
- 2 ため池の泥上げ
- 3 農道の改修
- 4 水質モニタリングの実施、記録管理



農地・水・環境保全向上対策の関連ホームページ

制度の解説や全国の活動組織のことなど、いろんな情報が掲載されています。
ぜひご覧ください！

農林水産省【代表電話 03-3502-8111】 http://www.maff.go.jp/nouti_mizu/index.html

全国水土里ネット(全国土地改良事業団体連合会)【電話 03-3234-5480】 ... <http://www.inakajin.or.jp/midorihozen/>